

GW 残雪の常念岳・蝶ヶ岳

報告:FJ

◎山行日：2017年4月29日(土)～5月1日(月)

◎メンバー：FJ 1名

ゴールデンウィークに久しぶりの登山をしました。一人でテント2泊、たっぷり雪山を歩きたいと思い、常念岳－蝶ヶ岳に行くことにしました。今年は雪が多く雪崩が心配でした。つい3月には那須のスキー場で、高校生ら8人が雪崩で亡くなった事故があり、今回は特に雪の状態によく注意しなければ、と臨みました。前日にシリウスに山行届のメールを打つと、Hさんから返信をいただき「三股から常念岳へは急登で、テント装備の重荷はキツイですよ」との励まし？で不安が増大しましたが、とにかく行きました。

1日目、空が薄明るくなったころ駐車場に到着。連休初日でしたが、車は10台ほど思ったより少ないです。朝食と身支度を済ませ6:00に出発。平坦な林道を15分ほど歩くと、小さなログハウス風の小屋があり、おじさんが立っていて、登山計画書を手渡す。そこが三股登山口でした。常念岳と蝶ヶ岳に道が分かれており、立て看板には「常念岳へはこの先、水場なし。急登が続く。遭難が発生しています。自信のない人は行先を変更してください。」と、だいぶ強めの警告が書かれていました。どんな厳しいルートなんだろうか、と不安が膨らみます。しかし、もともと標高差1500mは覚悟して来ているのだし、時間的に余裕があるので、ペースを無理しないで行けるだろうと踏んで、予定通り常念岳を目指すことにしました。

樹林の中を最初から急登です。30分ほどで残雪歩きになりました。たくさんの踏み跡がありルートは確実。雪は固くそのまま1時間ほど歩けましたが、頃合いを見てアイゼンを装着。登ること3時間、まだ樹林の中ですが、やっと尾根に出ました。そこだけ緩やかな地形でしたが、またすぐに急登でした。10時ころ、ついに樹林帯を抜け、岩と雪とハイマツの急登になりました。ここから先はトレースがありません。足がズボズボ潜るうえに、雪の下がわからなくて、非常に歩きにくいです。かといって、岩を避けると雪が深くて全然進めません。試行錯誤しながら、結局、岩の露出している近くをコース取りして、アイゼンをガリゴリと嫌な音をさせながら登るしかありません。うーん、だんだんしんどくなってきました。



急登が延々とぶっ通しで続き、先はまだまだ長い、これはヤバイです。とにかく体力をもたせなければ。あまり汗をかかない程度にペースを維持して、こまめに立ち止まって筋肉の疲労回復と、水分、カロリーを定期的に摂取しながら、ひたすらマイペースで登り続けます。そして12:20頃、前常念岳(2662m)まで来ました。道標には「常念小屋まで1.5時間」の文字が。ひえー、あと1時間半も！しかしここまで来たら、もう引き返すのは厳しいし、なんとしても小屋まで歩くぞ、と決心がつけました。

正面にはついに常念岳が見えました。しかし灰色の雲が垂れ込めてきて、あまり良くない感じです。あと数時間、なんとか天気をもってほしい！前常念岳から先は傾斜が楽になりました。岩の露出がなく完全に雪に覆われた尾根を注意深く歩きます。晴れ間が出たり曇ったり、雪が降ったりやんだり、怪しくなってきました。13:50、やっと常念小屋へ下る分岐点まで来ました。1時間半歩いたのに、小屋につくどころか、あと45分プラスです。ずいぶん時間がかかっています。今日は常念岳には登らず、早く小屋に向かおうと、判断に迷いはありませんでした。小屋が下の方に見えたので、あとはまっすぐ下っていただけですが、いよいよ天候が悪化し、吹雪になりました。さっきまで見えていた小屋も見えませんが、閃光とともに雷鳴が響き、大自然の姿を目の当たりにしました。ふとライチョウを1羽発見。悪天候のおかげで出てきてくれたのでしょうか、ラッキーでした。

15:00 やっと常念小屋に到着しました。テント1名900円を払い、受付のお兄さんと少し話をしました。「三股から大変だったでしょう。テント装備を担いでこの時間に到着はいいペースですね。三股から来る人はとんでもない時間に到着されるんですよ。毎年遭難事故が起きていて、三股はおすすめしません」とのこと。私は無事に登って来られて良かったです。テント泊は私も含めて3張だけ。小屋泊の人は多い様子。吹雪の中、張り終えたテントに潜り込み、やっと一息ついて、缶ビールを開けました。昨夜は徹夜だったこともあり、とたんに眠くなって、1時間ほど寝てしまいました。目覚めると晴れ間が出ていて、先ほど下ってきた斜面が輝いていました。夕食はコンビニで調達した豚しょうが焼きを食べ、日没とともに就寝。この日は天気が不安定で大変でしたが、明日は安定してほしいです。

2日目、5時半に起床。朝日が明るいです。夜中にだいぶ雪が降った様子ですが、明け方にやんで、風も弱まりました。今日は5時間の行程なので時間は余裕があります。朝食と身支度をしてテントを畳み6:30出発。他にも常念岳を目指す人はたくさんいて、今日は一人じゃなくてうれしいです。登り出すと強風になりましたが、山頂近くはまた穏やかに。そして8:00に常念岳2857mに登頂！穂高と槍ヶ岳をバックに記念写真を撮ってもらう。



常念小屋のテント場



常念岳山頂



穂高連峰（常念岳山頂より）

さてここからの縦走路にはトレースがありません。蝶ヶ岳を目指すのは私だけ？少し不安を感じていましたが、他にも1パーティーいました！ベテランらしい男性一人が二人の女性をロープでつないで行く様子。やはり他のパーティーがいると心強いです。最初の大きな下りは心配したほど難しくなく、ひと安心。槍、穂高の見事なパノラマ、歩くにつれて少しずつ角度が変わっていく景色を堪能しました。

空には雲がなく、気温4℃ですが日差しが暑くて、半袖になって歩きました。途中からは強い西風に吹き飛ばされそうになりながら、のんびりペースで歩き、13:30に蝶ヶ岳ヒュッテに到着。テント料700円を払い、良さそうな設営場所に目星をつけて、ザックを置いて確保。そして、小屋から50mほど先の蝶ヶ岳の山頂2677mへ到達！山頂がこんなに近くて絶景の小屋は素晴らしいです。テント場に戻ってテントを設営し、残った時間を、カップ樽酒と景色を眺めて過ごしました。夕暮れの空の色の変化を眺めながら、夕食のレトルトハンバーグをいただき、20:00に就寝しました。



蝶ヶ岳ヒュッテとテント場



絶景の蝶ヶ岳・テント場

3日目、4:45に起床。空はどんより、今にも降り出しそうです。夜中も強風でしたが、丁寧に風対策したおかげでよく眠れました。朝食は軽く済ませ、さっさと支度をして7:00に出発。樹林の雪の急斜面をずんずん下りました。途中で雨が降り出しましたが、2時間半で三股登山口に下山しました。

久しぶりの登山、テント泊で楽しみました。最大のハイライトは2日目の絶景縦走のはずですが、なぜか1日目の苦しく長い急登のほうが強烈な印象となりました。雪崩にも遭わずよかったです。北アルプスありがとう！

[コースタイム]

- 1日目：三股駐車場 6:00 発～三股登山口 6:15～尾根 9:00～前常念岳 12:30～常念岳 8合目分岐 13:50～常念小屋 15:00 着
- 2日目：常念小屋 6:30 発～常念岳山頂 8:00～蝶ヶ岳 12:15～横尾への分岐 12:35～蝶ヶ岳ヒュッテ 13:30 着～蝶ヶ岳山頂 13:50
- 3日目：蝶ヶ岳ヒュッテ 7:00 発～力水 9:00～三股登山口 9:30～三股駐車場 9:45